

かんしゃ



1 月号

2024
Vol.221

お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。

ライフスタイルにあった わたらしいボランティア ～ともに支え合うまちづくりを目指して～



子育てサロンで子どもと遊ぶボランティアさん

一人ひとりがそれぞれのライフスタイルに合った方法で、無理なく参加するボランティア活動は、多彩な取り組みを生みだし、地域や私たちの生活の大きな支えとなります。

誰かを支え、助け合うことで、お互いが笑顔になるボランティア。

あなたもライフスタイルにあった背伸びしない、私らしいボランティアをはじめませんか？
今月号は、ライフスタイルにあったボランティアを紹介します。

お知らせ あなたの「かんしゃ」募集します

社協広報紙「かんしゃ」の表題の文字とイラストをお寄せください！

■応募方法：右のQRコードから様式をダウンロードしていただき、ご記入の上、社協へ郵送してください。
採用された方にはクオカード 500円分をプレゼントいたします。

今月のイラストは アーチャンさん (9 歳)、文字は 正木 久美さん (47 歳) に書いていただきました。
ありがとうございます。



自宅近くで、できるボランティア

海蔵寺マチ子さん、自宅近くで、毎朝、地域の子どもの登校の見守りを行っています。自宅の近くで、できる活動だからこそ、無理なく続けられるそうです。今では、朝の登校見守りは生活の一部。子どもたちの元気な挨拶や子どもたちの成長を近くで見届けることに、喜びや、やりがいを感じ、生活の張り合いとなっていると話してくださいました。

子どもたちからは、「大人の方がいると安心」「時間を聞いたり、待ち合わせに遅れてくる友達に、先に行くことを伝えてもらってる」との声や「大きくなったら私もボランティアをしたい」という子どもの声もあるそうです。

自宅近くで、できる活動が地域住民同士の交流を育み、自然と地域の見守りにつながっています。



海蔵寺さん(右)と登校途中の子どもたち

好きなこと、特技を活かしたボランティア

山口美佐恵さんは、5人の子どもの育てるママ。子育て中のママに、「ほっとする癒しの自分時間を作ってあげたい」との思いから、ハンドマッサージを活かした子育てサロンでのボランティア活動に取り組まれています。



山口さん(左)とハンドマッサージで笑顔になるママ

山口さんのハンドマッサージを受けながら、ママ同士、おしゃべりが弾みます。ハンドマッサージで癒されたママは、とびきりの笑顔に。ママの笑顔が山口さんの活動力になっているそうです。エステティシヤンの仕事をしながら、ボランティア活動をつづける秘訣は、仕事と育児のすきま時間を活用し、無理をせず、ボランティアを楽しむことだそうです。あなたも好きなことや特技を活かしたボランティアはじめてみませんか。

災害ボランティア

牧島智彦さんは、仕事の休日を使って、災害ボランティアで活躍されています。

はじめたきっかけは、職場の人からライオンズクラブで行う災害ボランティア活動への参加の声かけでした。20代と若く、災害ボランティアの経験がなかった

ため、初めは何となく参加したそうですが、被災者の心のこもった「ありがとう」が忘れられず、やりがいを感じ、災害ボランティア活動を続けています。被災地で懸命に頑張っている被災者の姿にボランティア側が元気をもらうことも。災害ボランティアと聞くと体力を使うイメージがあるかもしれませんが女性でもできる炊き出しなどの活動もあります。あなたもチャレンジしてみませんか。



(株)昭和堂印刷に勤務する牧島さん



災害ボランティア活動の様子

好きな時にできるボランティア

自分の好きな時間を使ってできる、使用済み切手整理ボランティア。活動内容は、封筒に貼られた使用済み切手を切るだけ。自分のライフスタイルに合わせての活動ができます。

使用済み切手整理活動に関心がある方は諫早市社会福祉協議会まで是非お問合せ下さい。



【連絡先】 ☎24-5100

あなたのしあわせは？

「きょうだいと遊んでいるときに、産まれてきてくれたことに感謝の気持ちを抱いた。」アーチャンさん(9歳)



発見! 私らしいボランティア活動 チェックリスト

ボランティアは多種多様。ライフスタイルに合ったボランティアをみつけてみませんか



子どもの手が離れたので、料理を活かしたボランティアをしたい!

→ **こども食堂のボランティア**



定年退職をし、時間に余裕ができた地元で何か活動を始めたい!

→ **技術や技能を活かしたボランティア**



自宅でゆっくりできるボランティアがあればしてみたい!

→ **使用済み切手整理ボランティア**



子どもに勉強を教えるボランティアをしたい

→ **学習支援のボランティア**



趣味を活かしたボランティアをしてみたい

→ **高齢者施設やサロンで活躍するボランティア**



子どもたちの福祉の学習の手伝いをしてみたい

→ **福祉体験サポーター**



ボランティアに関するご相談は諫早市ボランティアセンター ☎24-5100 までお気軽にお問い合わせください。

第58回歳末たすけあい演芸大会にご協力ありがとうございました!

12月3日、関係団体や多くの出演者の皆様にご協力いただき、小野ふれあい会館で「第58回歳末たすけあい演芸大会」を開催いたしました。売上や観覧料は全て歳末たすけあい募金に寄附し、誰もが年末年始を安心して暮らせるよう、生活にお困りの人などの支援に役立たせていただきます。



募金総額

211,274円

ボランティアを体験したり、ボランティアをしている人と交流してみよう!

~令和5年度 ボランティアフェスティバル~

「点字」、「手話」、「布ぞうり作り」、「ふるさと諫早かるた」など体験型のブースが盛りだくさん。ぜひ、ご参加ください。

日時: 令和6年1月28日(日) 午前10時~午後3時

場所: 諫早市社会福祉会館 (諫早市新道町948番地)

主催: 諫早市ボランティア連絡協議会 ボランティアフェスティバル実行委員会

※体験内容によって体験できる時間が異なります。

詳しくは、下記QRコードから



【問い合わせ】

諫早市ボランティア連絡協議会 事務局 (諫早市社会福祉協議会) TEL: 0957-24-5100

上山荘に新規講座

『健康づくり やさしいヨガ』

日時 毎月第1・3土曜日 午前10時30分~12時 ※1月6日から実施します。

場所 上山荘1階 小会議室
講師 介護福祉士



『音楽レクリエーション』に参加しませんか

上山荘では、カラオケ機器を使用して「音楽健康指導士」による運動機能の向上や口腔体操、認知症を予防する講座を、好評につき延長して開催します。

日時 1月24日(水)、2月28日(水)、3月27日(水) 午前10時50分から1時間程度

場所 上山荘1階 多目的ホール
募集人員 15名程度

対象者: 市内在住の概ね60歳以上の人
参加費: 無料 ※但し、入館料として160円が必要です。

皆様の参加をお待ちしています。【問合せ】上山荘 ☎23-2488

ご寄附ありがとうございました

次の皆さまから、心温まるご寄附をいただきました。ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切にさせていただきます。

令和5年11月1日~令和5年11月30日受付分
物品寄附 ▶ 宇良土地改良区(高来町)
▶ (株) 轟名水ファーム高来(高来町)
▶ (有) りんくるエンタープライズ(八天町)

1月のふれあい福祉相談

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどを おたずねください。(10日前の予約が必要)

| | | |
|-------------------|------|--------------|
| 無料 書 相 談 | 開設日 | 1月26日(金) 弁護士 |
| | 開設時間 | 午後1時30分~4時 |
| | 場所 | 諫早市社会福祉協議会 |

編集 発行

社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地
TEL0957-24-5100 FAX0957-24-5101
ホームページ <http://isahaya-shakyo.jp>

(諫早市社会福祉協議会で検索ください)

あなたのしあわせは?

「コーヒーを飲みながら読書をするときです。」
正木久美さん(47歳)

※地区社協とは、おおむね小学校区を単位とし、地域やその住民が抱えている課題を発見し地域でその解決に向けて取り組んでいくための住民組織です。

第9回

地区社協情報便

〜小野地区社会福祉協議会〜

寄ってみんね、
かたつてみんね、この小野で

金比羅山に登れば、遙かに見晴るかす広大な平野。江戸時代から連綿と続く干拓で県内最大の穀倉地帯となった諫早平野を懐に抱える小野地区は地域の絆を何より大事にしながら今に繋がってきた地区です。そんな地区であることから社会福祉協議会も市内では昭和四十二年に最初に設立され、福祉協力員制度も平成十年にスタートするなど地区の福祉には特に真剣に取り組んできた歴史があります。

しかし、そんな小野地区も、令和八年には九州でも最大級の商業モール街が完成予定など大きな変革期を迎えていることは間違いありません。人の心も移ろって、地域の活動に参加しない人が増えたり、地域で活動する団体の構成員が減り活動の担い手である役員に成りたがらないなど、日本中で見受けられる問題の顕在化も例外ではありません。

さて、長かった新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置により、開催できなかったこんびら祭りが四年ぶりに開催され浮立や銭太鼓、新地節など小野地区定番の出し物が催され、小野地区社会福祉協議会主催の敬老会でお招きした八十名弱の高齢者の人たちからもついつい大きな「持って来い」の掛け声が掛けられるなど大盛況でした。また、こんびら祭りの前日には、小野地区内の八十歳以上の人たち全員に敬老饅頭の配布、年一回婦人会の人たちが小野地区でできた米や野菜を持ち寄って作られた手作り弁当を八十歳以上のひとり暮らし

小野地区社会福祉協議会

■会長 永尾 久美子

■執筆 事務局長 高稲 恒

■令和5年度取り組む事業

- ・ふれあいいきいきサロン(5箇所)
- ・小学校新入生への防犯ブザー贈呈
- ・小中学校の修学旅行費用助成
- ・小野地区各種団体への活動助成金交付
- ・八十歳以上の方々全員への敬老紅白饅頭配付
- ・八十歳以上の方々全員を敬老会(こんびら祭り)招待
- ・ふれあい食事サービス事業(2回)
- ・広報紙発行(2回)

し高齢者の人たちへ配布したり、五町内で毎月開催されているサロンへの地区社協からの助成なども行っています。児童福祉としては小学校新入生に防犯ブザーを配布、小中学校の経済的に恵まれない生徒さんには修学旅行費用の助成も行っています。

こういった現在までもずっと続いてきた地道な活動を、町内会連絡協議会、老人会、婦人会、民生委員児童委員、福祉協力員などの手を借りながら絶えることなく継続していくことが地域の福祉に寄与すると信じてこれからも活動して参ります。



手渡しで届くお弁当にニコリ



婦人会からのメッセージ付き弁当



第18回諫早市社会福祉大会

〜お互い様の地域づくり〜できることからやってみよう!〜



日時 令和6年1月18日(木)
開場/午前9時30分
開演/午前10時〜

会場 諫早文化会館 大ホール

日程 午前10時〜 式典
▶ 諫早市社会福祉協議会表彰
▶ 出口ボランティア表彰

午前11時〜 活動発表
▶ 活き生き元釜 ~フロアカーリングを通しての住民のつながり~
▶ こながい「支えあいの会」~住民同士の支えあい活動~

午前11時50分 閉会



活き生き元釜フロアカーリング

同時開催 10時〜13時

ミニナイスハートバザール
【パネル展】

諫早市ボランティア連絡協議会
諫早市地域包括ケア推進課



こながい支えあいの会 活動の様子

諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」では、広報誌に関するご意見、地域で行われる福祉活動や行事の情報を皆様から募集しています。